

成人向
ONLY FOR ADULT ONLY FOR



— ゴットツマシザン —

淫乱熟女
UXOREM M
HITO
MAM

マサン

ひと-づき

① 人の妻。

② 他人



中表紙



目次



ヒトヅマミサン



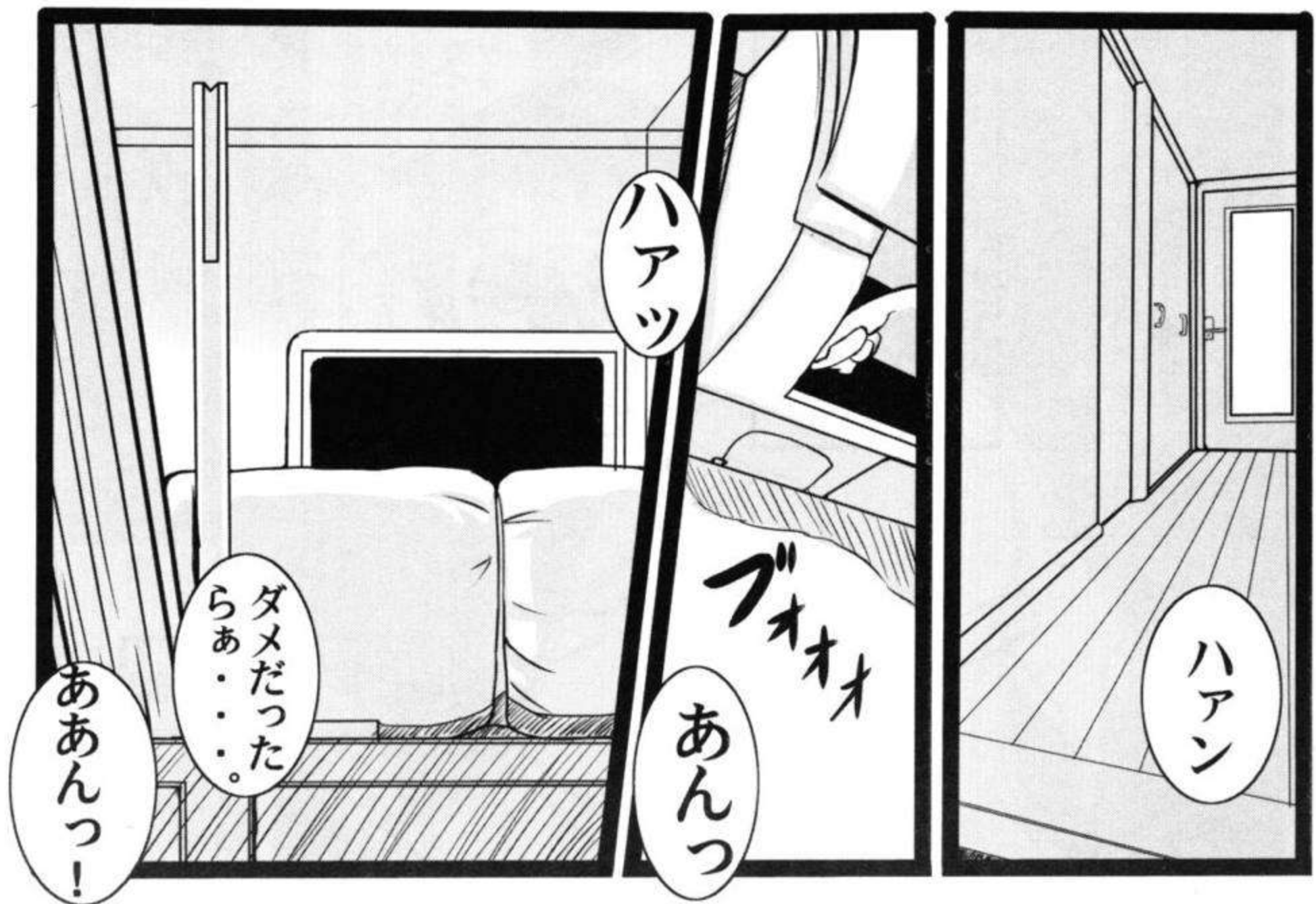
あとがき



興付



UXOREM MAGI
HITOUZU MAMISAN



どうしてこんな事になっってしまったの
だろう...

ママさん...
オレ...もう、我満
出来ないよ...

ダメダメ
たら...
タックんたら、
落ち着いて？
ねっ？

そして何故...
私はハッキリと
拒絶する事が出来ない
のだろう...

鹿目タツヤ君。そう。まどかさんの弟君だ……。

お久しぶりです。マミさん。

円環の理へとまどかさんが行ってしまっただから、私はまどかさんの代わりにずっと姉として接していた。

マミいっすあそぼろろ!!

ずっと弟として可愛がっていたタツヤ君は……とても素敵な男性へと成長していた。

鹿目タツヤ (19歳)

あれから16年……。私も大人になり結婚もした……。

若い男の子に会うからと、年甲斐もなく大胆な服装をしていたのがいけなかった。タツくんが若いリビドーを暴発させてしまうなんて……。

でも夫は殆ど家に居ることはない。ある日、偶然タツくんと再会を果たした私は、話し相手が欲しくて、彼を家に招き入れた。

巴 マミ (30歳)

タツくんに迫られ、それを拒めないでいる。そんな時にふと、夫の後ろ姿が脳裏に浮かんだ……。

今から4年前、私はバイオリニストである夫と結婚をした。その時は幸せな生活が待っていると信じていた……。

一度、三文小説のようなセリフを吐いてしまった事がある……。

夫は何も言ってくれなかった。でも、その時の夫の目は今でも鮮明に覚えている……。

でも、次第に歯車がゆっくりと狂い出す……。夫にとって何よりも大事なのは、私などではなく音楽だったからだ。

結婚して3年も経つと……もう……夫は私の方を向いてくれる事は……無くなってしまうた。

私と音楽とどちらが大切なのか？

その目は冷たく、まるで汚物を見るかのように見下した目をしていた……。

私はどうしても……独りぼっちなってしまうの？

まどかさん……

ギョッ

……さん

ママさん!!!

ママさん?
だ、大丈夫?

僕……

ママさんに小さい頃から
ずっと言いたかった事が
あるんだ。

アッ

幼い頃から、僕はママさん
の事を本当のお姉さんのように
慕って来たけど……。
僕はそれだけじゃ嫌だ。

小さい頃から
ずっと、ずっと……

!?

ピッ

僕はママさんの事を
一人の女性として
愛しています!

結婚していたって
知るもんか。ママさん
は僕が守りたい!

ああ……
そうか……

ずっとずっと、僕が
一緒に居ます!
居させてください!

私の事を見てくれて
いる人は、こんなに
近くに
いたんだ……。

か...と一緒にいる

ああ...
タツくん...

フツ、まったく...
姉弟揃って同じ事を
言うのね...

私も...貴方と
一緒に居たい...

私の事を...

こんなにも
見てくれている
んだもの...

もう、タツくんたら
強引なんだから...

こんなおばさん
だけどいいの？

私は今から、
あなた以外の
男に抱かれます。

あなた...
ゴメンナサイ...



当たり前だよ
マミさん……。

キラッ

フフッ
ありがとうタツくん。

それに……

マミさんは
とっても綺麗だよ。

トガッ



マミさんの下着
とってもセクシーだね。

びん

あ

ズルッ

アツ

アツ

アツ

そんないきなり
そんなトコ
ダメだったらあ。





あゝあゝ

あゝあゝ
イッ
イッ
イッ!!

グ
ウッ
ウッ
ウッ

バビッ

パンチッ

あゝあゝ
イッ
イッ
イッ!!

ふふっ、
もちろんだよ

ううん、
素敵よ……
もっと私を
愛してくれる?

嫌だった?

イツちやった
マミさんの顔も
凄く可愛いよ。

チッ

カチッ

タツくんには、私の
全てを見せて
あげられる。

私の
おっぱいも、

スルッ

お尻も、

ヌギッ

アソコも
全部……。

♡♡♡

この身体は全て、
タツくんの物よ？

どうかな？

私の身体。
まだいけるかしら？

いや、
その……

スゴく……
綺麗です……。

まるで女神様
みたいだ……。

もう！
こんなオバさん
をからかわないの！



お返しに、タツくんのも
気持ち良くして
あげるね。

びゅん

わっ、ちよつと
マミさんってば(汗)

あらあら・・・

スツゴ〜い!

旦那のなんかより
ひと回り大きいわあ。

びゅん
びゅん



何かちよつと
恥ずかしいなあ。

ウフフツ
タツくんも、いつの
間にか、立派な大人に
なったたのね。

フフツ、じゃあ
人妻のテクニク
って物を・・・
見せてあげるわ。

くばあ♡

気持ち良く
なってね!

ギョッ



んっ、
おいひい...

ああ、久しぶりの
この感触...



喉の奥から
熱くなつて

頭のでっぺん
まで痺れちゃううう！



さあ
どうだ！

お待ちかねの、
マミさんのおっぱい
だぞ！

んっ
ポッ
まだまだ
気持ち良くして
あげるからね？



ギョッ

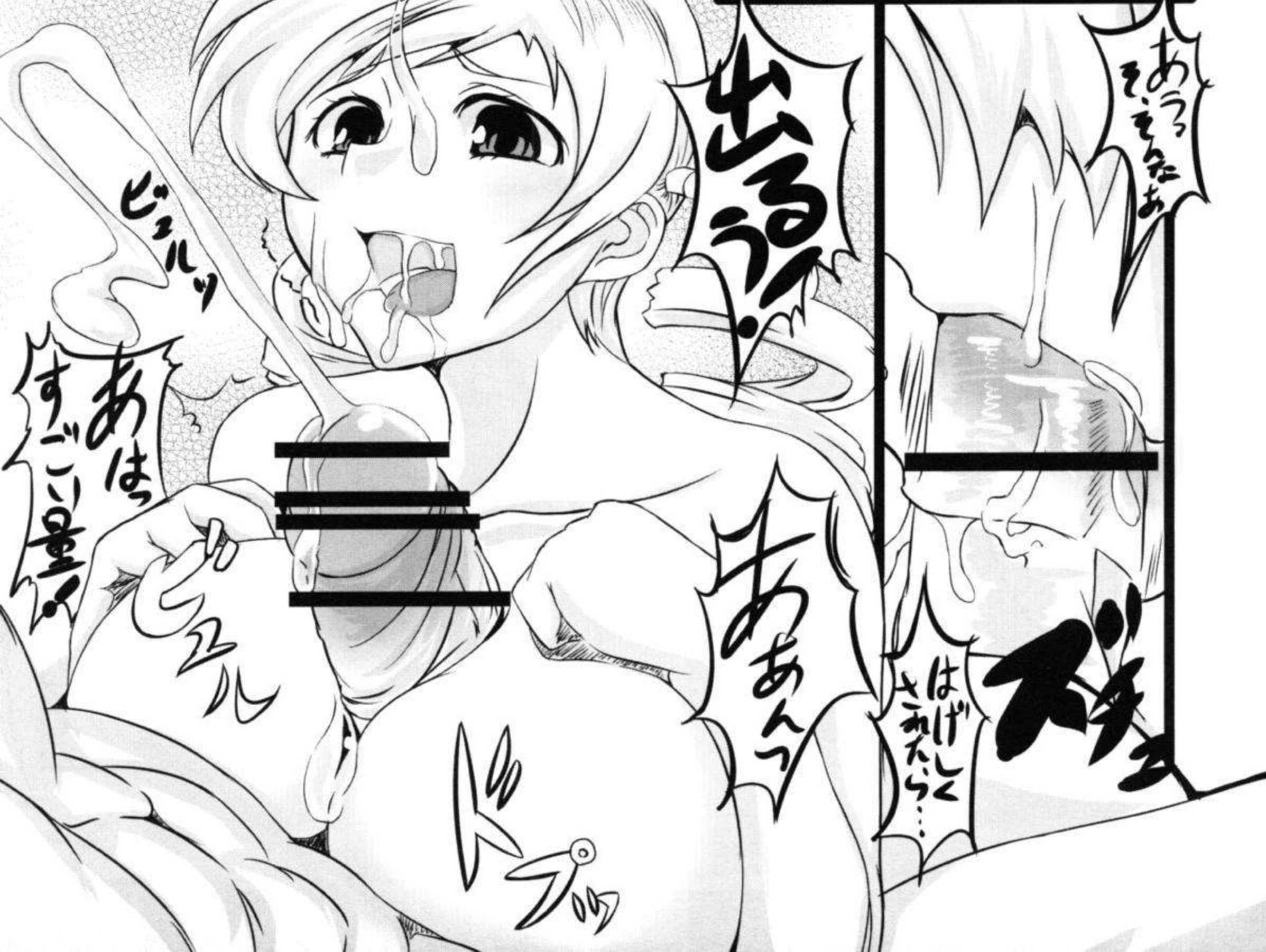
すっごおい！
私のおっぱいでも
収まり切らないじゃない？

フフッ、凄い・・・
ビクビク
脈打ってる・・・

ああ、何だかタツくん
のおちん○んにおっぱい
犯されてるみたい。

思いつきり
出して良いよ？

マミさんのおっぱい、
凄く柔らかい・・・



出る！

あーっ
きいんあ

あはっ
すっごいおい

ああんっ

はげしく
おっぱい...

おっぱい

こんなに沢山
ドビュドビュ出した
のに……

おチンオンは
まだまだガッチガチ
じゃない？

タツくんったら、
エッチなんだから。

マミさん
……

私も、もう
我満出来ないの。

タツくん……
私のここにタツくんの
遅しいのを頂戴……

はぁっ♡

あん♡

タツくんたら
そんなに焦らないの。

マミさん
!!

んっ♡



ああ……
久しぶりの
この感触。

ハハ

ハハ

ググッ



あぐー! やつぱり、
ちよつと……
大きすぎ……

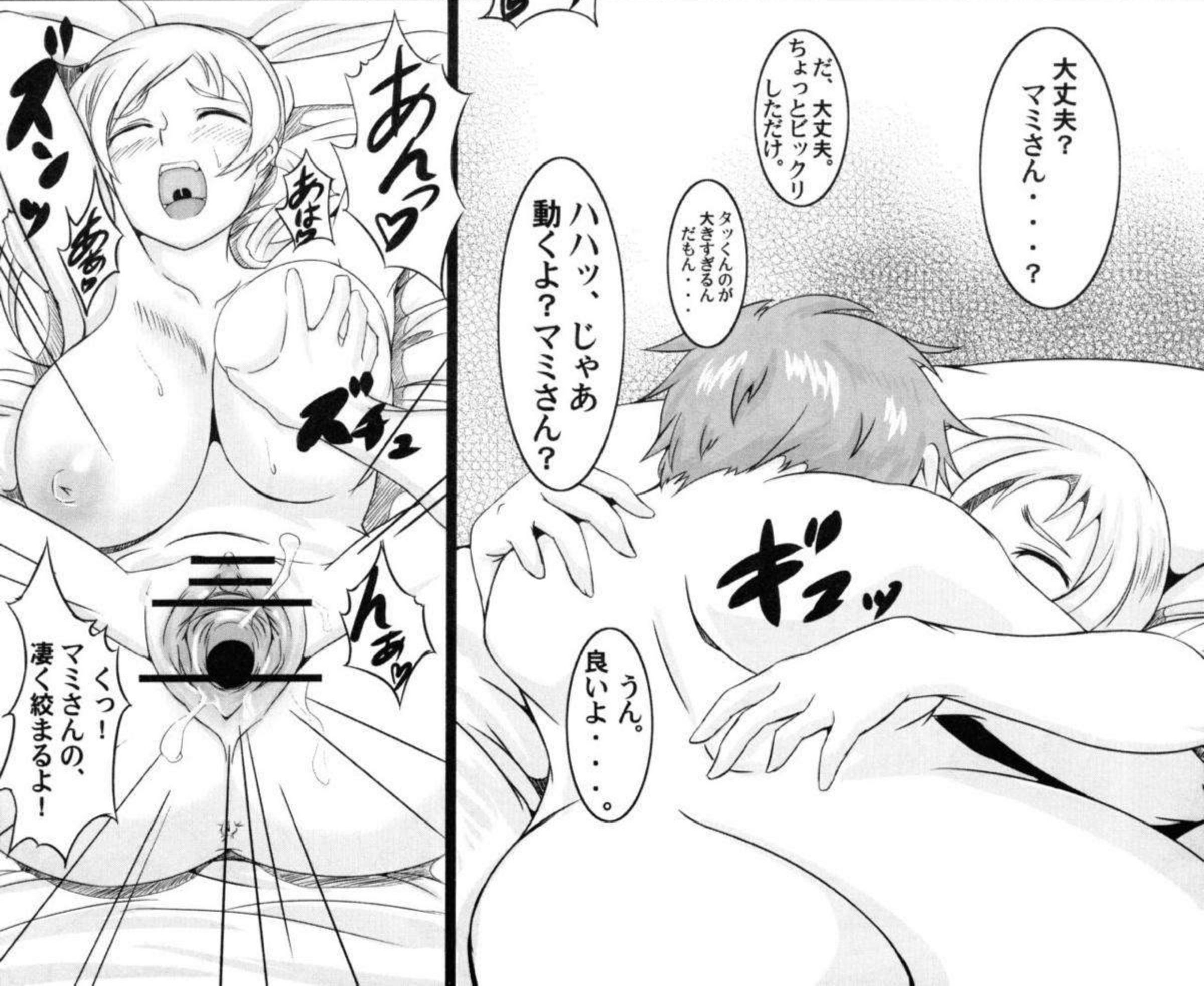
ギツッ

ハアハア



あああ

ズッ



大丈夫?
ママさん……?

だ、大丈夫。
ちよつとビックリ
しただけ。

タツくんが
大きすぎるん
だもん……

ハハッ、じゃあ
動くよ? ママさん?

ギツッ

うん。
良いよ……。

あん♡

あは

ズツ

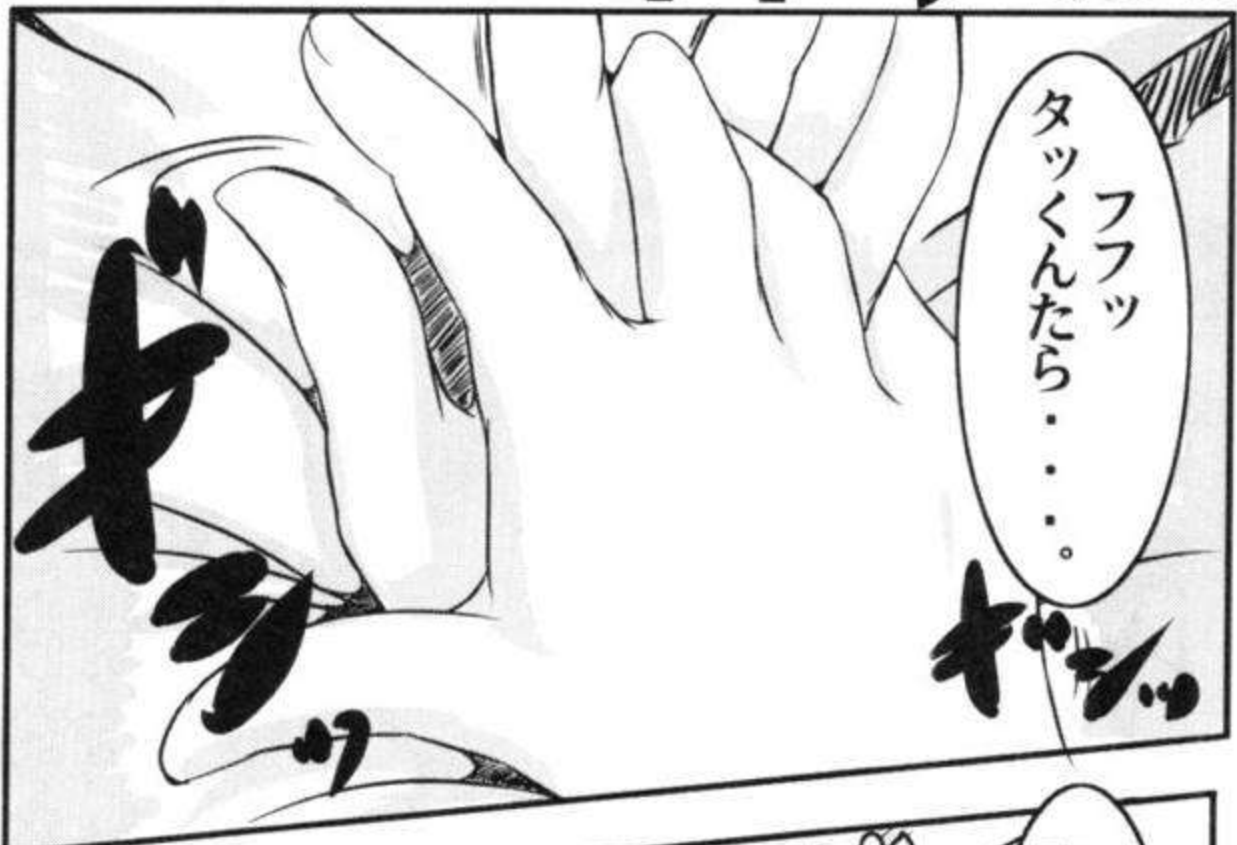
んん

三三

くっ!
ママさんの、
凄く絞まるよ!



ああっ！
マミさん
気持ちイイよ！



フフツ
タツくんたら……



私も愛してるわ。
タツくん……

マミさん。
愛してる……



そりや、相手が
マミさんだもの。

タツくん……
激し過ぎー！

その日、
私達は激しく
愛し合った。

タツくんは何度も
若い肉棒で、私の
膣を突きまわす。

その至高の快樂が
私の乾きを満たし

何度となく膣内に
放出された熱い精子
は……。

私の冷えた心
までもを温めて
くれた。



ドッ
ドッ
ドッ

アッ
ズン
グッ

グッ

アッ

ズン
グッ

ズン
グッ

またアッ
アッ!!

アッ!!

ズン
グッ

あなたに...!!

アッ!!

ズン
グッ



あああつ、タツくんの
熱いのがドブドブ
出てるうう！

ピクッ
プッ

プッ

ピクッ
プッ

プッ

プッ

ピクッ



ご、ごめん。
あまりに気持ち
良かったから。

もう、ちよつと
出しすぎだぞ？

ふう・・・
もうお腹タプタプ。

プッ

プッ



あのね、
タツくん。

ひとつお願い
があるの……。

フフツ、
冗談よ。

何？
マミさん？

あのね……
私の事、ずっと……
ずっと離さないで
居てくれる？

フツ



あの人のように
私を見捨てないで
いて欲しいの……。
お願い……。

……勿論だよマミさん。
僕は一生、あなたを
離さない……。

ありがとう……
……タツヤ。

ガチャ



大丈夫……

ホッフ

私が居るわ……



ガッ

スッフ



キッフ

そうだ。私は一人
じゃない……。

私には……
タツヤが居てくれる！



もう……
何も怖くない。

あとがき

この度はこの本をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

今回はいつも描く量の倍以上のページ数を描く事になり、四苦八苦しながらも何とか書き上げる事が出来ました。

今回のテーマは人妻なのですが、いかがでしたでしょうか？

ただでさえまどマギには男性陣が少ない上にまどマギ自体、人妻ってまどかママだけなんですよ。話の構成を考えるのにも、また苦勞致しました(´・ω・`)酒の勢いだけでテーマ決めちゃダメですね(え

ちなみに、この本の話の中でのマミさんの旦那さんは上条君になっております。

さやかちゃん振られて、緑の髪の娘も振られた場合の平行ワールド的な話って感じですかね？

賛否両論あるかと思いますが

個人的には、仮にさやかちゃんが先に告白していたとしてもきっと上条君には振られてたんだろうなあ・・・

しかもきっと緑髪の娘も途中で捨てられるんだろうなあ・・・と
考えて出てきた話なのです。

上条君は恋愛よりも音楽って感じがしましたしね。

描き終えてみて、もうちょっとエロエロに描きたかったなあ
反省点も多いのですが、それでもこの本を手にとって頂いた方には楽しんでもらえたら何よりです！

とりあえず上条君逝ってよし！ (マテ

by ふいあ

ヒトヅマミサン

HITOZUMAMISAN

著者

f i a

発行日

2012年8月12日

発行所

B l a c k B o x

サークル代表

海 海月

連絡先

e-mail : blackbox-2001@hotmail.co.jp

URL : <http://circle.blackbox.ne.jp/>



印刷

(株)クラビス・フリーク事業部

※18歳未満の方のご購読は禁止いたします。

※乱丁・落丁だった場合はお手数ではございますがサークル連絡先までご一報下さい。お取替えいたします。

※本作品の無断転載・複製ならびに、WEB上にアップロードしたり共有ソフト等を使用して不特定多数の方が閲覧出来る様にする行為を禁止いたします。



BlackBox
2012 SUMMER